

株式会社ステムセル研究所

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

2024年11月12日

01 — 決算概況

02 — 成長戦略

03 — 会社概要

決算概況

（単位：百万円）

	2024/03期 2 Q(中間)	構成比	2025/03期 2 Q(中間)	構成比	対前期 増加額	対前期 増減率
売上高	1,213	100.0%	1,373	100.0%	160	13.2%
売上総利益	782	64.4%	881	64.2%	99	12.7%
販売費及び 一般管理費	566	46.7%	623	45.4%	56	10.0%
営業利益	215	17.7%	258	18.8%	42	19.9%
営業外損益	1	0.1%	6	0.4%	4	491.2%
経常利益	216	17.8%	264	19.2%	47	22.1%
特別損益	24	2.0%	136	10.0%	112	469.0%
税引前 中間純利益	240	19.8%	401	29.2%	160	66.8%
中間純利益	159	13.2%	271	19.8%	112	70.2%

売上高・各段階利益

過去最高

売上高（対前期比）

+13.2%

営業利益（対前期比）

+19.9%

中間純利益（対前期比）

+70.2%

（単位：百万円）

	2024/3/31	構成比	2024/9/30	構成比
現金及び預金	2,845	43.5%	3,371	48.6%
売掛金	1,588	24.3%	1,742	25.1%
投資その他の資産	1,321	20.2%	992	14.3%
資産合計	6,543	100.0%	6,935	100.0%
前受金	3,420	52.3%	3,589	51.8%
純資産合計	2,692	41.2%	2,870	41.4%
負債純資産合計	6,543	100.0%	6,935	100.0%

現預金 + 売掛金 +
投資その他の資産

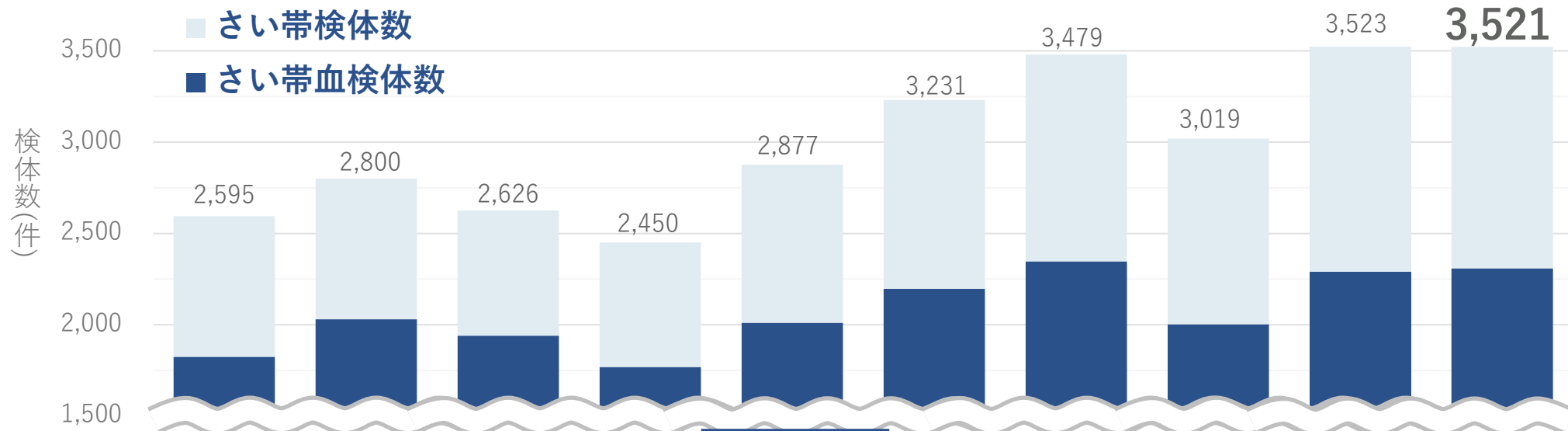
合計 6,106百万円

対前期比 **+351**百万円

投資その他の資産

（主な内訳）

1. (株)ジャパン・メディカル・カンパニーへの出資
2. (株)ベビーカレンダーへの出資
3. (株)グレイスグループへの出資
4. MUFG社債（5億円）



	2023/03期				2024/03期				2025/03期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
さい帯血 検体数(件)	1,825	2,030	1,940	1,769	2,011	2,198	2,347	2,003	2,291	2,309
	合計	7,564 (対前期比+9.5%)			8,559 (対前期比+13.2%)				4,600 (対前期比+9.3%)	
さい帯 検体数(件)	770	770	686	681	866	1,033	1,132	1,016	1,232	1,212
	合計	2,907 (対前期比+92.4%)			4,047 (対前期比+39.2%)				2,444 (対前期比+28.7%)	
さい帯血保管者の さい帯採取比率	42.2%	37.9%	35.4%	38.5%	43.1%	47.0%	48.2%	50.7%	53.8%	52.5%

培養上清製造
サービス開始

成長戦略

1 自閉症スペクトラム障害（ASD）に対するさい帯血を用いた臨床研究が大阪公立大学で開始

- ▶ **当社に自身のさい帯血が保管されている** 自閉症スペクトラム障害（Autism Spectrum Disorder; ASD）の2～4歳の小児20名を対象に実施
- ▶ ASDは**100人に1人の割合**で発症していると言われており、**新たな治療法の開発による保管率向上を推進**

2 サービスブランドの再構築および新料金プランのローンチ

- ▶ さい帯・さい帯血の片方は必ず保管できるように**両方採取する**新ブランド「HOPECELL」をローンチ、これまで約7～8%あった売上計上できない保管不可検体が**今後はゼロ**となる
- ▶ 価格改定により**平均単価が約12.8%上昇、月額2,980円（税込）**から保管できる**支払いやすい新料金プラン**で、幅広いターゲット層を獲得

3 シンガポール、ベトナム、インドネシアを中心としたASEANでの事業展開

- ▶ シンガポールにて**地域統括会社「StemCell Institute (Singapore) PTE. LTD. (仮)」**を設立
- ▶ さい帯・さい帯血等の周産期組織由来の**細胞バンク事業**および**同事業に関連するクリニック**の展開

10/29 大阪公立大学と共同プレスリリース


「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」 研究者主導臨床研究に関するお知らせ

- ▶ 自閉症スペクトラム障害（Autism Spectrum Disorder; ASD）は、発達障害のひとつであり、現在、**有効な原因療法は確立されていない**
- ▶ ASDの症状が発症するメカニズムのひとつに、脳内の免疫系が過剰に反応し、脳神経機能に異常をきたしていることが挙げられるが、免疫を抑制する細胞を含む臍帯血を投与することにより、**脳神経機能が改善**することが期待されている


大阪公立大学でお子さまご自身のさい帯血を投与する臨床研究が始まり、今後参加者の募集が行われる

Press Release

各位



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



2024年10月29日
株式会社ステムセル研究所
大阪公立大学

**「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」
研究者主導臨床研究に関するお知らせ**

この度、大阪公立大学医学部附属病院において実施される、第I/II相臨床研究「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」（実施責任者：大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学 濱崎 考史教授）について、臨床研究等提出・公開システム（jRCT）に情報が公開されましたことをお知らせいたします。

本研究は、株式会社ステムセル研究所に自身の臍帯血（自家臍帯血有核細胞）が保管されている自閉症スペクトラム障害（Autism Spectrum Disorder; ASD）の2~4歳の小児20名を対象に行う臨床研究であり、安全性を確認すると共に、有効性を探索的に評価します。

臨床研究等提出・公開システム（jRCT）
<https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jRCTb050240170>

- 海外- 増加中 米国デューク大学「**拡大アクセス制度(EAP)**」への参加
- 国内- 進行中 **小児脳性麻痺など脳障害**に対する同胞間(きょうだい)臍帯血有核細胞輸血(高知大学)
- 国内- 進行中 **自閉症スペクトラム障害**に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発(大阪公立大学)

当社独自のサービス

サービス開始

2023年6月1日

「ファミリー上清 (さい帯由来幹細胞培養上清液)」 製造サービス



保管したさい帯の幹細胞を培養・増殖させて
エクソソームやサイトカイン等を含む上清液を製造
新たな有効活用により **さい帯保管者が増加**
複数回製造可能、家族で使用できるため
LTV (顧客生涯価値) 向上を実現、申込者増加中

ポイント

- 1 保管したお子さまの「さい帯」から幹細胞培養上清液を製造
日本初、当社だからできるサービス
- 2 **医療クリニック**において医師の裁量下で顧客のニーズに
合わせて適切に投与
- 3 複数本に分けて保管したさい帯の一部を使用するため、
残りのさい帯は、**将来に備えて保管継続が可能**

さい帯・さい帯血を両方採取し、片方は必ず保管

※ 月々2,980円(税込)、両方保管しても月々3,980円(税込)の新料金プラン ※ ※120回分割/10年保管の場合

契約料金の比較 (10年/税別)

	片方のみ保管			両方保管	
	新プラン (ONEホープ プラン)	ベーシック プラン+ (BS+)	ベーシック プラン (BS)	新プラン (Wホープ プラン)	プレミアム プラン (PM)
P/L売上 (初期費用)	265,091円	250,000円	200,000円	314,182円	300,000円
P/L売上 (初年度保管料)	6,000円	5,000円	5,000円	12,000円	10,000円
BS前受保管料 (保管料(2~10年分))	54,000円	45,000円	45,000円	108,000円	90,000円
合計	325,091円	300,000円	250,000円	434,182円	400,000円

月間のP/Lインパクト (800検体/月の場合の想定)

新 プラン	旧 プラン	検体数	差額 (単価)	差額 (合計)
ONE ホープ	BS	400	66,091円	26,436千円
	BS+	200	16,091円	3,218千円
W ホープ	PM	200	16,182円	3,236千円

※旧プランの検体比率をもとに試算。新プランにおいて両方保管比率が上がるとより増収効果が高まる。

+

保管不可	不可率	不可検体数	P/L売上
ベーシック プラン	8%	32	6,560千円

合計 39,450千円

約4,000~5,000万円/月、約5~6億円/年の増収効果

シンガポール

インドネシア

ベトナム

等、**東南アジア (ASEAN)** での事業展開

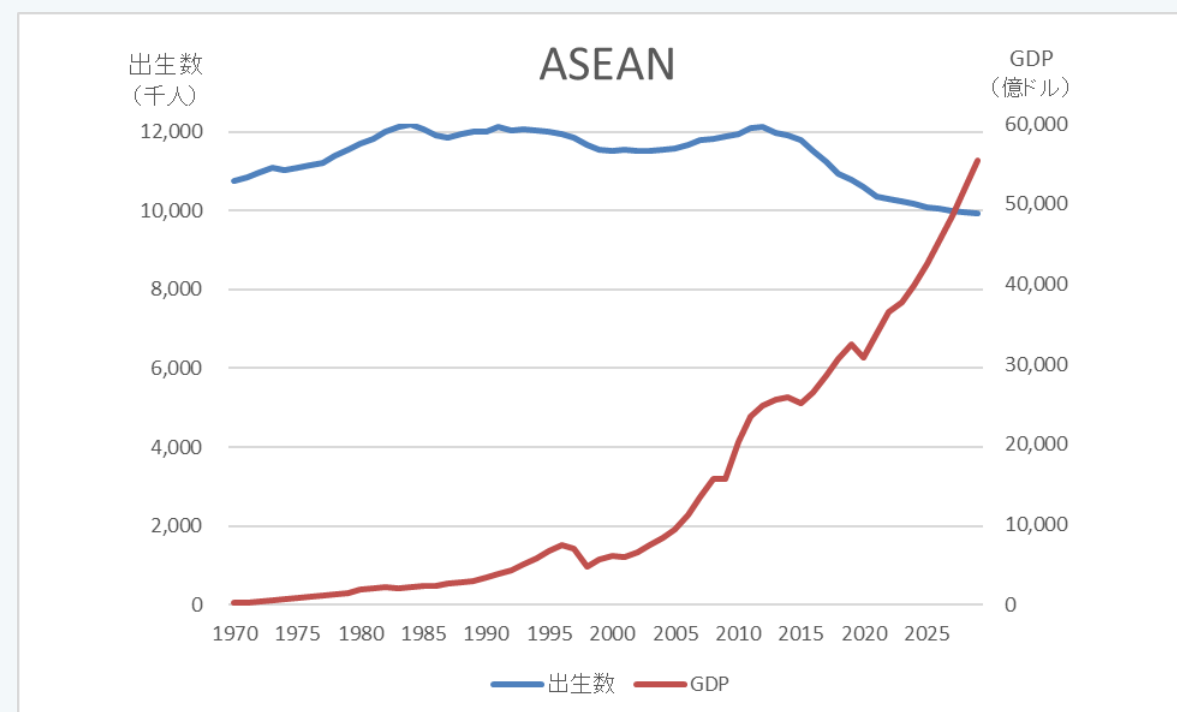
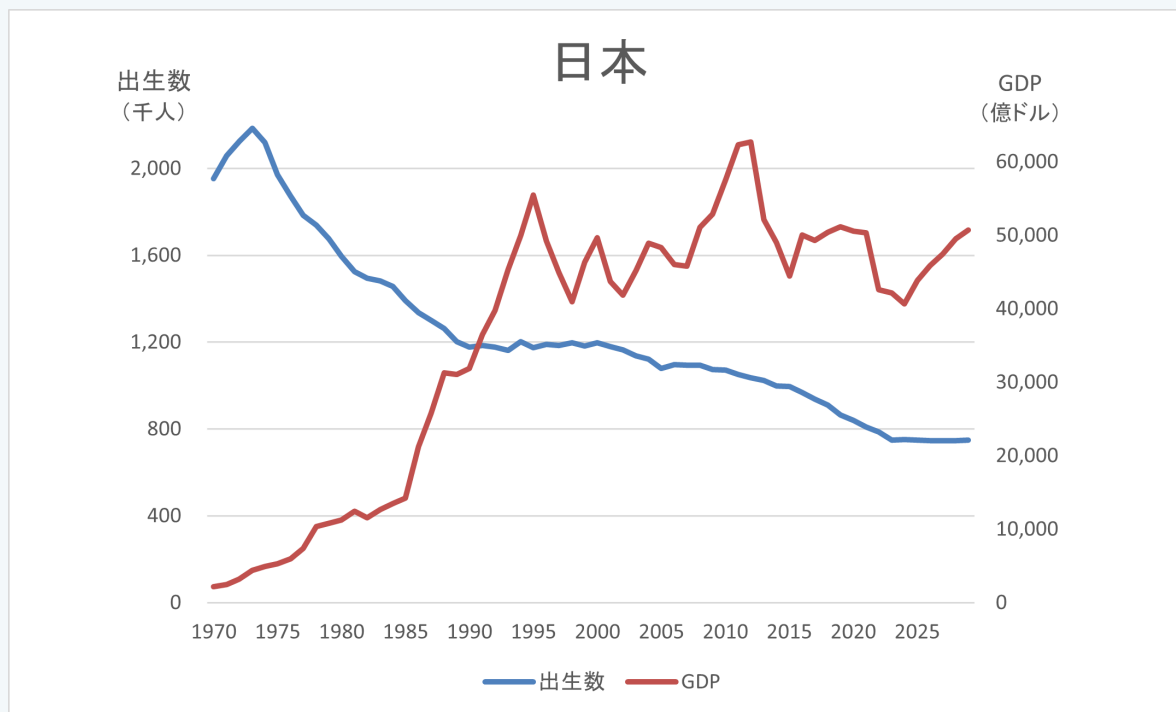
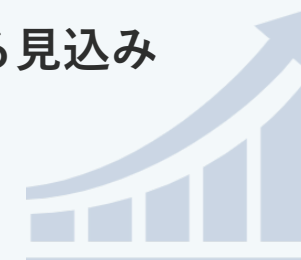


**シンガポールに地域統括会社
(Regional Head Quarters : R H Q) を設立**

名称	StemCell Institute (Singapore) PTE. LTD. (仮)
代表者	Managing Director 清水 崇文
事業内容	ASEAN地域における事業開発及び現地法人の経営管理等
資本金	300,000 SGD (約34百万円)
設立予定日	2024年11月 (予定)
出資者及び 出資比率	当社100%

**シンガポールから周辺国へ
細胞バンク 及び 提携クリニックの展開(含M&A)**

- ▶ 年間出生数は日本の約70万人と比べて**1000万人以上**、GDPは急成長しており2027年には日本を超えることが予想されている**巨大なマーケット**
- ▶ ターゲット層：1000万人 × 3% (富裕層) = **30万人(年間)以上**、今後さらに増加する見込み
- ▶ シンガポールでのさい帯血保管料金は**4万SGドル**(約44万円/10年)、保管率約**20%**
日本より**高額なサービス料金でも保管率はかなり高い**



※グラフはWorld Development Indicators Data Bank、United Nations, Department of Economic and Social Affairs 「World Population Prospects 2024」、International Monetary Fund, 「World Economic Outlook Database, October 2024」をもとに当社作成

Social (社会・人的資本投資)

E / S / G

働きやすい環境

- ▶ 本社移転、横浜細胞処理センター(横浜CPC)新オフィス開設
事業拡大に伴う本社機能の拡充・業務の効率化、働きやすさの改善
- ▶ リモートワーク・時差出勤・育児期間中の時短勤務等

女性の活躍

- ▶ 従業員の女性比率 **78%**
※契約社員・パート含む
- ▶ 女性管理職比率 **25%**
- ▶ 報酬総額の男女比率 **1 : 0.74**

出産・育児

- ▶ 育休後の復職率 **100%**
- ▶ 男性の育休取得率 **100%**

賃上げ(率)

- ▶ 2023年 **4.5%**
- ▶ 2024年 **5.1%**

人材育成

- ▶ 新卒入社者研修・キャリア研修

健康と安全

- ▶ ストレスチェック・健康診断
- ▶ 勤務時間のモニタリング
長時間労働の防止及び
上長への通知・指導
- ▶ 有給休暇の取得促進
- ▶ 全従業員を対象とした
インフルエンザ予防接種の補助

Governance (ガバナンス)

E / S / G

多様性・経営監視強化

- ▶ 女性役員比率 **28%**
現在女性役員 2 / 7名、社外役員女性比率50%(3名)
体制を目標に
- ▶ 社外役員比率 **85%**
役員 7 名の内、社内役員は代表取締役の 1 名のみ
で構成

Environment (環境)

E / S / G

環境保全

- ▶ 本社移転による胡蝶蘭等の祝花を
「フェイクグリーン」に
- ▶ オフィス全体での節電運動

会社概要

名称	株式会社ステムセル研究所 (英語名:StemCell Institute)
代表者	清水 崇文
設立日	1999年8月5日
資本金	7億480万円
事業内容	周産期の組織に由来する細胞の処理及び保管を行う「細胞バンク事業」及びそれらの細胞を用いた再生医療の研究開発
所在地	<p>本社：東京都港区虎ノ門一丁目21-19 東急虎ノ門ビル 2階</p> <p>東京CPC：東京都港区新橋五丁目22-10 松岡田村町ビル 1階</p> <p>横浜CPC及び第一・第二細胞保管センター：神奈川県横浜市緑区白山一丁目18-2 ジャーマンインダストリーパーク</p> <p>事業所：名古屋オフィス / 大阪オフィス / 福岡オフィス</p>
社員数	<p>社員：111名(男性:39名 女性:72名)</p> <p>非常勤(契約社員・パート)：110名(男性 9名 女性101名) ※2024年9月末時点</p>
主要株主	<p>株式会社トリムメディカルホールディングス(72.06%)</p> <p>※(株)日本トリム(東証プライム:6788)が(株)トリムメディカルホールディングスの株式(100%)を保有</p>
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
主要取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行
主幹事証券会社	野村証券株式会社
監査法人	有限責任あずさ監査法人

- 本資料は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済情勢が含まれております。
- 本資料の当社以外に関する情報は、一般的に公知と考えられるものに基づいております。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の勧誘行為を行うためのものではありません。

株式会社ステムセル研究所